

安西冬齋 あにし とうさく 詩人。明治二十一年二月九日奈良縣生れ、昭和四十年八月二十四日歿（一九六一—一九六三）。本名勝。大阪府立堺中學校卒。大正八年滿洲へ渡り十五年間滞在。この間關節疾患を患ひ、隻脚となる。十二
年北川冬彦等と詩誌『西亞』を創刊し短詩運動を興す。昭和二年『詩と
詩論』創刊同人となり、エスプリ・ヌヴェル新詩精神運動を推進。戦後は『日本未來派』
等の同人。

著書『現代詩・昭和十七年春季版—國民詩特輯』（合著・日本詩人協
會編、昭和十七年八月—二十七日河出書房）、『新日本詩選—愛國の詩』（合
著・村上成實編、昭和十八年四月—二十五日大阪・大和出版社）、詩
集『大學の留守』（昭和十八年十一月—二十日大阪・湯川弘文社）『新詩
叢書』（、『現代詩・昭和十八年秋季版』（合著・現代詩會編、昭和
十九年二月—二十日大阪・雁文館）、『翼—飛行詩集』（合著、昭和十
九年十一月—二十五日築地書店全畫、東京出版株式會社）、『櫻の實
』（隨筆・小品・日記）』（昭和二十一年十一月—二十日大阪・新史書房）、
詩集『産せる鬮半土』（昭和二十四年十一月—二十五日不二書房）等。

